

中毒学Ⅱ

授業概要

中毒学Ⅱの講義・演習では、中毒学の一般原理の解説・応用にはじまり、薬毒物、農薬、大気汚染物質等の環境に影響を及ぼす毒物をはじめ、化学兵器、生物兵器、動物毒、植物毒、食中毒、細菌毒および産業衛生学関連等の広範囲にわたる中毒について実践的に学ぶ。

担当教員

竹下治男（主担当）	教授・法医学
藤原純子	学内講師・法医学
木村かおり	学内講師・法医学
山崎雅之	学内講師・環境予防医学

一般目標 general instructional objectives

1. 中毒をめぐる問題を法医学の立場から理解・応用し、中毒をめぐる社会的問題を理解し対処する。
2. 精神医学領域における薬物中毒（薬物依存）の病態について理解し、実際の事例に対処できる。
3. 産業衛生分野におけるリスクマネジメント手法を理解し、産業中毒に対処できる。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 中毒の一般的知識や毒性発現機序を理解・応用でき、中毒に関わる社会的問題に積極的に関わる態度を示し、社会的に行動することができる。
2. 薬物依存をきたす主な薬物の種類、症状、治療について理解・応用でき、社会的問題として理解を深め、対処できる。
3. 産業衛生分野におけるリスクマネジメント手法を用い、産業中毒の予防措置を提案できる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

使用テキスト・参考文献

講義ごとに次回の参考文献を示す。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	法医中毒学の現状と今後 1	竹下治男
2	中毒学Ⅱ （総論 1）	木村かおり
3	中毒学Ⅱ （総論 2）	山崎雅之
4	中毒学Ⅱ （総論 3）	藤原純子
5	法医中毒学の現状と今後 2	竹下治男
6	薬物依存の現状と今後（総論）	藤原純子
7	薬物依存の現状と今後（各論 1）	〃
8	薬物依存の現状と今後（各論 2）	木村かおり
9	法医中毒学の現状と今後 3	竹下治男
10	法医中毒学の現状と今後 4	木村かおり
11	産業衛生の現状と今後 1	山崎雅之
12	産業衛生の現状と今後 2	〃
13	産業衛生の現状と今後 3	〃
14	産業衛生の現状と今後 4	〃
15	法医中毒学の現状と今後 5	藤原純子